

発行者/宮本 義彦 事務局/河竹 康之 〒399-0701 塩尻市広丘吉田3359 サーバス広丘507 TEL & FAX 0263 (57) 0787  
印刷所/双葉印刷 編集者/林 卓子 〒385-0051 佐久市中込3611-100 TEL & FAX 0267 (62) 8158  
長野県山岳協会 HOMEPAGE URL <http://www.nmaj.org/> 定価 / 100円



純白のつがいに逢えた

写真：小林 貞幸 (記事掲載P11)

## 二〇一二年度

## 長野県山岳協会 活動方針

理事長 大西 浩

震災後一年を経過しました。しかし復旧、復興の道はまだほど遠いのが現実です。世界的な経済不況も先が見えませんが、この厳しい事態の中で、我々山に登る者でできることは何でしょうか？ 昨年度私たちは「山に登る者が山に登ることを通じてできることを考えていく」そんな年にしようと、通常の事業に加えて、五〇周年事業を進めてきました。

本年度は、さらに「前を見て進んでいくことで希望と勇気を示す」そんな一年にしていかなければなりません。「信州の山に登り、学び続け」て来た五〇年の歩みの上に、新たな未来を展望するような協会運営に心がけて行きたいと考えています。

ここ何年か中高年一色だった「山」に少しずつ変化が現れてきているようにも思われます。昨年もてはやされた「山ガール」に引かれるかのように若い男性登山者も心なしか増えているように思います。山岳会の会員減少、高齢化が言われる昨今ですが、山岳協会に加盟している加盟団体の中にも、若い会員が少しずつ加入しているところもあります。五〇周年事業や北信越団体の運営を通じて横のつながりも生まれてきています。これらを起爆剤とし、加盟団体の協力を求めながら、我々自身の登山をさらに充実したものにしていきたいと考えています。

山のニュースは  
**信濃毎日新聞**

信濃毎日新聞に購読のお申込は ☎ 0120-81-4341 まで

そのためには「登山活動を行うための山岳協会であること」という原点に立ち返って、目的、意義を明確にした協会構築を目指していきたいと思えます。支部、委員会それぞれが様々な事業を計画していますが、目的を明確にした上で、これらを協会員へ広く周知し、協会活動と協会員の登山活動との関わりを理解を深めていきます。各委員会の連携を今まで以上に密にし、効果的かつ効率的な事業実施を検討し、委員会活動の活性化についても研究検討を行います。

多くの方々のご協力で実現した山岳図書資料館の運営も今年度から具体化しました。山岳文化の殿堂としてのこの資料館の果たす意味は大きいものとなるはずですが、協会員の皆さんの意見も参考にしながら使い勝手のよい施設となるよう育てていきます。

また、今年度から三年間、長山協は「NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ」様と共同で、山岳総合センターの指定管理者

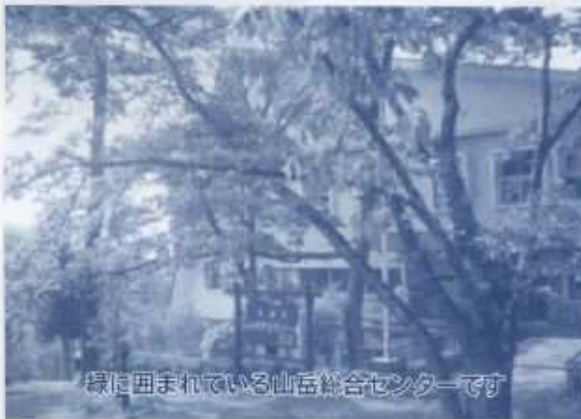
に選定されました。我々は山岳総合センターを今まで通り「山岳に関する研究、調査と健全な登山の教育事業の場」として機能させていくことが長山協の使命であると考え、困難を承知で名乗りを上げました。その意味で指定管理者としてこの一年は正念場となります。協会の中に山岳総合センター運営管理部を位置づけ、専任の職員をおいての運営が始まりました。実際に現場で運営にかかわる者はもちろんですが、それ以外にも指導員を中心に多くの協会員の皆さんの協力をお願いする中で、我々の思いが具現化できるセンターにすべく努めていきます。

長野県山岳協会の五一年目の新たな出発の年として、これらの諸事業を通し、社会的に認知される山岳団体として、より一層足腰が強くなり一丸となった協会運営を目指します。みなさんのご協力をお願いします。



# 山岳総合センター スタートしました

**利用料金の例**  
 ☆泊まる場合 1,400円/1泊  
 ☆ボルダリング壁を使う場合  
 1回(3時間)100円または  
 1,000円で2ヶ月間有効パス  
 ☆教室を使う場合  
 1回(3時間)2,700円  
 (人工岩場はこれまで通り無料)



緑に囲まれている山岳総合センターです

四月一日から指定管理者としての運営がスタートしました。回数を増やした上に有料化したので、参加者が減るのではないかと心配していましたが、今のところ予想以上の申込みを頂いています。また、体験室にあるボルダリング壁も話題のストラックラインを付けたこともあって人気です。

ホームページも新しくしました。ブログに講習のことなど、ほとんど毎日アップしています。これまで土日は閉まっていたのですが、月曜日以外は夜八時まで開いています。是非気軽に遊びに来てください。

所長 杉田 浩康

## 〈こんな事業が実施されました〉



4/30 雪上技術講習会A



5/11 第2回「信州」山の自然楽講座  
「戸隠の森と野鳥」



5/13 長野県高等学校登山研修会

## 2012～2013年度 長野県山岳協会役員紹介

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
名 誉 会 長	古原和美	松本岳友会ライフ&マウント	競 技 部	部 長 森山 謙 雄	アートウォール
顧 問	唐木 勉	伊那山の会	国 際 部	国 体 委 員 長 浮須 由 実	グループ・ド・モレーヌ
	久保田元夫	中条山岳会		ス ー パー ク ラ イ ミ ン グ 委 員 長 中 嶋 岳 志	信州大学山岳会
	清水 澄	原山岳会		部 長 古 島 俊 彦	グループ・ド・モレーヌ
	島田 良	諏訪山岳会	国 際 登 山 委 員 長 中 島 俊 弥	長野県高等学校体育連盟	
	田村宣紀	グループ・ド・モレーヌ	国 際 交 流 委 員 長 中 島 俊 弥	長野県高等学校体育連盟	
会 長	宮本義彦	グループ・ド・モレーヌ	事 業 部	部 長 西 澤 晃	山幸グルッペ
副 会 長	競 技 部 長 森山 謙 雄	アートウォール	担 当 理 事 佐 伯 和 人	山幸グルッペ	
	国 際 部 長 ・ 東 北 信 支 部 担 当 古 島 俊 彦	グループ・ド・モレーヌ		医 科 学 委 員 長 林 美 之	駒峰山岳会
	事 務 局 ・ 山 岳 図 書 資 料 館 ・ 中 信 支 部 担 当 西 田 均	大町山の会	高 体 連 専 門 委 員 長 酒 井 知 之	長野県高等学校体育連盟	
	事 業 部 長 ・ 諏 訪 支 部 ・ 中 高 年 担 当 西 澤 晃	山幸グルッペ	中 高 年 担 当 特 任 理 事 木 売 さ つ き	山学山遊会	
	普 及 指 導 部 長 ・ 伊 那 支 部 担 当 田 中 幸 雄	伊那山の会	自 然 保 護 連 盟 派 遣 田 村 宣 紀		
	医 科 学 ・ 山 岳 総 合 セ ン タ ー 担 当 杉 田 浩 康	松本岳友会ライフ&マウント	山 岳 総 合 セ ン タ ー 運 営 管 理 部 員 宮 本 義 彦 ・ 西 田 均	杉 田 浩 康 ・ 大 西 浩	
理 事 長 理 事 会 統 括 ・ 高 体 連 担 当 大 西 浩	信濃高等学校教職員山岳会	山 岳 資 料 館 運 営 委 員 宮 本 義 彦 ・ 西 田 均	河 竹 康 之 ・ 村 上 周 平		
副 理 事 長 理 事 長 補 佐 中 島 俊 弥	長野県高等学校体育連盟		村 田 健 治 ・ 傘 木 靖		
事 務 局 事 務 局 長 河 竹 康 之	ク ラ イ ミ ン グ メ イ ト ク ラ ブ		大 西 浩		
	事 務 局 次 長 佐 野 隆 司		伊那山の会	中 嶋 岳 志	
	やまなみ編集担当 林 卓 子	ゲーテセンター			
支 部 長	H P 担 当 小 林 貞 幸	中条山岳会	長 野 県 ク ラ イ ミ ン グ チ ー ム	中 嶋 岳 志	
	東 北 信 支 部 菅 田 寛	クラブ山冒	監 事 花 岡 勉	岡谷山機会	
	中 信 支 部 稲 田 憲 治	マサダ企業集団		伊 澤 則 昭 長 野 山 岳 会	
	諏 訪 支 部 朝 岡 一 郎	諏訪山岳会	長 野 県 山 岳 協 会 事 務 局 河 竹 康 之 氣 村	ク ラ イ ミ ン グ メ イ ト ク ラ ブ	
伊 那 支 部 竹 内 一 郎	飯田山岳会				
普 及 指 導 部	部 長 田 中 幸 雄	伊那山の会			
	指 導 委 員 長 村 上 周 平	茅野山岳会			
	遭 難 対 策 委 員 長 村 田 健 治	松本山登会			
	自 然 保 護 委 員 長 小 林 貞 幸	中条山岳会			
	ジ ュ ニ ア 委 員 長 傘 木 靖	飯田山岳会			

表彰を受ける中嶋監督

## 2011年度表彰について

賞	団 体 名	氏 名	表 彰 該 当 事 項
山 岳 栄 光 賞	国 体 少 年 男 子 長 野 県 チ ー ム	監 督 ・ 中 嶋 岳 志	少 年 男 子 チ ー ム は、北 信 越 国 体 を 1 位 通 過 し、山 口 県 で 行 わ れ た 第 66 回 国 民 体 育 大 会 に お い て リ ー ド 競 技 4 位、ボ ル ダ リ ン グ 競 技 5 位 入 賞 を 果 た さ れ ま し た。そ の 成 果 は も と よ り、不 断 の 努 力 に よ り 勝 ち 取 っ た 栄 光 と 長 野 県 山 岳 界 へ の 功 績 は 大 で あ り、こ れ を 表 彰 い た し ま す。
		選 手 ・ 中 嶋 徹	
		選 手 ・ 小 林 大 祐	

長野県山岳協会創立50周年記念・市立大町山岳博物館創立60周年記念

# 山岳図書資料館 開館となる



五〇周年記念事業の一端として多くの皆様からの熱い想いと支援により進められてきた山岳図書資料館は四月二〇日、開館を迎えることが出来ました。まずはご支援いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

当日は、山岳博物館創立六〇周年記念事業として、この山岳図書資料館の開館に共同で取り組んできた大町市のご好意により、開館式典が開催され、当協会からも宮本会長、古原名誉会長をはじめ関係者が列席しました。

建設総額四千万円余のこの事業は、施設が開設されることも大きな事業ではありましたが、これから継続して求められる資料の充実や、有効活用への取り組みも重要

な事業となって来ます。

長野県山岳協会では、図書受け入れ経費などのため、一般会計に山岳図書資料館経費を位置付け、対応を行っていきます。

また、今後も図書資料の受け入れを継続して行くことから、多くの皆さんの理解と協力を引き続き求めてまいります。

資料提供方法などの問い合わせは協会事務局へお願いします。

なお、資料館の利用は、市立大町山岳博物館(電話〇二六一―二二一〇―二二一一)開館時間内となります。

更に、随時收藏される図書資料のリストも同博物館ホームページから閲覧することが出来ます。

標高2,000mの雲上の一軒宿



通年営業

- 春 新緑とレンゲつつじのお花畑、
- 夏 百花乱舞の高山植物のお花畑、
- 秋 マツムシ草の大群落と紅葉、
- 冬 霧氷の白銀スノートレッキング、  
(スノーシュー・XCスキーレンタル有ります)

## 美ヶ原高原ホテル山本小屋

〒386-0701 長野県小県郡長和町美ヶ原5101-1  
TEL 0268-86-2011 FAX 0268-86-2013  
URL <http://www.utsukushigahara.com>

## 槍・穂高に乾杯



日本百名山

### 常念小屋

Mt. Jōnen 2,857m

JAPAN ALPS

松本事務所/松本市沢村1-11-18 〒390-0877 電0263-33-9458  
山のしおり進呈(送料不要) 山小屋直通 電090-1430-3328

## 2012年度 長野県山岳協会 上期計画

日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	日
1	日 第53回定期総会 第1回理事会	火	金 高体連県大会	日	水	土	1
2	月	水	土 高体連県大会	月	木	日	2
3	火	木	日	火	金	月	3
4	水	金	月	水	土	火 伊那支部幹事 会③	4
5	木	土	火	木 東北信支部幹 事会②	日	水	5
6	金	日	水	金	月	木 諏訪支部幹事 会④	6
7	土 第7回山岳スキー競技 全日本選手権大会	月	木	土 東北信支部夏 山登山教室	火 高体連全国大会	金	7
8	日 第7回山岳スキー競技 全日本選手権大会	火	金	日 東北信支部夏 山登山教室	水 高体連全国大会	土	8
9	月	水	土 東北信支部物 見の岩清掃	月	木 高体連全国大会	日 新潟climbing交流会②	9
10	火	木 東北信支部幹事会① ネパール植林帰国	日 やまなみ205号 発行	火	金 高体連全国大会	月 やまなみ206号 発行	10
11	水	金	月	水	土 高体連全国大会	火	11
12	木	土 北信越5県代 表者会議	火	木 諏訪支部幹事 会③	日	水	12
13	金	日	水	金	月	木	13
14	土	月 チベット登山協 会来長 ~16日	木	土	火	金 高体連中信新人戦	14
15	日	火	金 高体連北信越大会	日	水	土 高体連中信新人戦 高体連東信新人戦	15
16	月	水	土 新潟climbing交流会① 高体連北信越大会	月 北信越国体 (福井県)	木	日 高体連東信新人戦	16
17	火 第2回理事会	木 諏訪支部幹事 会②	日 子どもclimbing大会 高体連北信越大会	火 北信越国体 (福井県)	金	月	17
18	水	金	月	水	土	火	18
19	木 諏訪支部幹事 会①	土 雪上交流会 in 針ノ木	火 第3回理事会	木	日	水 中信支部幹事 会④	19
20	金 山岳図書資料 館開館	日 雪上交流会 in 針ノ木	水 中信支部幹事 会②	金	月	木	20
21	土	月	木	土 ジュニア登山 教室①	火 第4回理事会	金	21
22	日	火	金	日	水	土	22
23	月	水	土	月	木	日	23
24	火 伊那支部幹事 会①	木	日 県大会兼国体予選長野 県クライミング大会	火	金	月	24
25	水 中信支部幹事 会①	金	月	水 中信支部幹事 会③	土 講師研修会 (夏期)	火	25
26	木 ネパール植林 出発	土 指導員検定会	火 伊那支部幹事 会②	木	日 講師研修会 (夏期)	水	26
27	金	日 指導員検定会	水	金	月	木	27
28	土	月	木	土 諏訪支部夏山 登山教室	火	金 高体連南信新人戦 ~29日	28
29	日	火	金	日 中信・諏訪支部 夏山登山教室	水	土 長山協キャンプ	29
30	月	水	土	月	木	日 長山協キャンプ	30
31		木 高体連県大会		火	金		31
備 考				ムスターグアタ降 スキー研修登山 7/8~7/29			備 考

# 2012年 第7回山岳スキー競技日本選手権大会レポート

日山協 競技部山岳スキー競技小委員会 笹生博夫

昨年は準備を進めながらも、東日本大震災を受け、急遽取り止めとなった標記大会が開催された。昨年の中止が、スタッフ人数、参加選手人数にどのような影響を及ぼすのか不安もあったが、五〇周年記念事業効果なのか、新しい仲間も加わり、総勢五七名(日山協、小谷村含む)のスタッフにより運営された。

主催者である日本山岳協会の実務者である笹生博夫氏から寄稿をいただきました。

昨年東日本大震災の影響で中止された山岳スキー競技日本選手権大会が四月七・八日、二〇一〇年大会と同じ長野県小谷村の梅池高原で開催された。

今大会も長山協の全面的な協力を頂いたことに改めて御礼申し上げます。選手登録は前回より多い五一名であったが、怪我や個人的理由から出走しない選手があって、最終的にレースに出たのは四七名となった。韓国から六名、中国から三名が参加した。

大会前日まで降雪が続きコース作りに苦労したが、レース当日は快晴で最高のコース日和となった。



た。大量の降雪による雪崩

の危険を考え一部コースを短縮してレースを実施したが、雪のせいもあって役員の配置に若干の時間がかかった。さらにゴンドラの運転開始が例年より三〇分遅い八時三〇分になったこともあって、レース開始時間が三〇分以上遅れ、結果としてレースクロース時間までの時間が短くなったことで例年より完走者が減ったことは悔やまれる。

レース全体では選手のレベルが上がリ、上位選手の走りやテクニクが大きく進化したことと、初参戦の他競技の有力選手の活躍が印象に残った。

小川壮太選手は初参加で一位と二分二五秒差の二位

と、実に立派な成績を残した。上りではトップの藤川選手にはば肉薄し、上りから下りへのトランジションや滑降で藤川選手との差が開くという展開であった。

女子でも二位の田近郁美選手が大会連覇中の強豪間瀬ちがや選手に一分一〇秒差の二位と肉薄した。それも借り物のやや重いスキーとブーツでの初参戦でこの成績は高く評価できる。

前記小川壮太選手は男子トラン、田近郁美選手はマウンテンバイクとアウトドア耐久競技の有力選手で、彼らが参入し一気に上位に入ったのは、今後の競技普及にヒントを与えてくれた。

何人かの選手達が感想を寄せてくれたので紹介する。

平田伸也選手(男子八位)は「大量の新雪のせいでコースが少し短くなったのが残念だったが、新雪の滑りは楽しめました。この雪では運営は大変だったと思います。選手

としては、もっとコースが長いほうが楽しめると思います。が、ギャラリーを考えると今のようなコース設計が良いのかと迷うところです。レースとしては、競技レベルが非常に上がったことは間違いないです。これまでで最高と言えるのではないのでしょうか。用具も複数社から提供されるようになってきているので、さらに競技と用具の普及が進むと思います。」

女子二位の田近郁美選手は「真っ青の晴天、真っ白な雪の上で、必死で登り下っているとすごく楽しくて、競技しながら景色も楽しんでいました。やっぱり競技中は苦しかったりきつかったりもしましたが、ゴール後に他の選手と話をしたり、すがすがしい笑顔を見ていると、本当に気持ち良かったんです。たくさんスタッフの方々のお陰で、梅池で思いっきり楽しめる事に感謝しています。」

七回連続出場している鈴木



啓一郎さん「この山岳スキー競技は始まった第一回から参加して、今回で七回目になります。何故山岳スキーで人と競わなければならないのか？そう、誰でも思うと思います。しかし、競技でなければ出来ないこと、競技がなければ得られないことが、自分の中のメンタルなことや、新しい人とのつながりのようなソフットの面と、登山&山岳スキー道具などのハード的な面両方であり、新しいことに触れ挑む大変よい機会を得ています。自分の順位成績は、加齢とともに下がる一方ですが、これがリアルな自分のパフォーマンスです。そして、こんな気象条件が定まらない、自然環境の中で「安全に競技が出来る」とはなんて素晴らしいことでしょうか。これこそ、

最後に役員で参加下さった長山協の林卓子さんの感想を紹介します。

最後に役員で参加下さった長山協の林卓子さんの感想を紹介します。

年に一度日本全国から山岳スキー選手が集まり、地元の方々や関係各位の素晴らしい協力があるから出来る「贅沢な雪上大運動会」なのでしよう。主催者の皆さんに感謝することは、自分が参加し続けること。来年も山岳スキー競技日本選手権大会に参加したいと思えます。」彼も記録をブログに載せています。(http://k1ros.web.fc2.com/120408tsngaik/120407.htm)。

第一回から市民レーサーとして参加している福島吉田利春さんは「自身の健康回復の為に山岳スキー競技に取り組んでいるそうです。寄せられたコメントは「山岳スキー競技のダブルボールで雪山斜面を登る動作はあらゆる治療の集大成です。レースは究極の自力再生治療で、そのレース用具は究極の治療用具です。雪山のコースは最高の治療環境です。」競技の普及にはこうした市民レーサーの参加機会をさらに広くすることに努めたい。

他に今回の大会で特筆すべき点は、ジュニアのレースが成立したことである。これは韓国から二名のジュニア選手が参加した為である。国内でのジュニア選手発掘も次シーズンの課題である。

インターネットでの露出が増えたことも今回の特徴である。レースの詳細をプロビデオカメラマンが撮影編集した一三分の映像がYoutubeに公開されているので関心のある方はぜひ見ていただきたい。(http://www.youtube.com/watch?v=19cIBsUzCq8)

他に今回の大会で特筆すべき点は、ジュニアのレースが成立したことである。これは韓国から二名のジュニア選手が参加した為である。国内でのジュニア選手発掘も次シーズンの課題である。

「私は、今回初めてお手伝いをし、「山岳スキー大会」を間近に見ることが出来ました。選手の頑張りと熱気、何よりもトップ選手の滑りの見事さに感激させられました。最終滑走の方も、随分お歳のようにでしたが、「三回目です。」と汗をぬぐいながら、楽しんでおられました。若い人のバックカントリー志向が広がっている姿を見るにつけ、エキスパートな皆さんだけでなく、ローカルでもこのような大会が広まることを期待したいです。」

登山・クライミング・キャンプ  
カヌー・テレマーク・山スキー



山とスキー専門店 **ブンリン**

松本市中央2丁目7の14  
TEL & FAX 0263-33-3633  
営業時間 10:00~19:30 (日曜祝日 10:00~18:30)  
定休日: 水曜日

役員で来て下さった方のブログなど多くのサイトで紹介されているのは喜ばしい。これらのリンクについては山岳スキー競技大会の公式サイト(<http://www.jamc.jp/koop>)を参照してほしい。

今回の一〇位までの選手はほぼ全員世界選手権に出場しており、選手層に厚みが出てきたと言えるまでになった。今回まで八年七回の大会を継続実施できたのはひとえに故柳沢会長、現宮本会長以下皆様の献身的なご支援があったことである。ここまで継続



上がった選手を誘導するスタッフ

出来た故に選手層が厚くなり、アジアで唯一本格的な山岳スキー競技が実施できる体制が確立された。皆様のご支援に重ねて御礼申し上げます。

# ネパール 植林ボランティア&ヒマラヤトレッキング 長野県山岳協会・ネパール山岳協会友好協定再調印式

長野県山岳協会顧問

## 田村宣紀

環境を考える長野県自然保護連盟との共催事業の、第二回のネパール植林ボランティアとヒマラヤトレッキングが無事終了しました。また、五月八日には今回のネパール訪問に合わせたネパール山岳協会との友好協定の再調印式も執り行われ、将来への友好交流の促進が約束されました。

隊は、田村宣紀顧問を隊長に一四名で構成され、四月二六日に日本を発ち、広州を経由して二七日にカトマンズ入り。



カウレ村植林地での水やり作業

### 植林ボランティア

第一ステージの植林ボランティア行動は四月二九日から五月二日までの四日間。安倍泰夫ドクター(元CMC会員)が二一年間にわたり五〇万本の森を育てた四つの村を訪問。

一日目のトゥブチェ村では植林に加わった多くの住民の他、小中学生三〇〇人以上が参加して盛大な歓迎会となった。この村では実際の作業はなかったが、見事に育った大木の森、最近では虎の出没も確認され生態系が戻ったことに感慨もひとしおだった。

ついで、三〇日はカウレ村に移動。村の中心地から二〇分ほどの斜面で植樹から一



見事に育っている沙羅双樹の木(牛乳パックの森)

五年ほどの若木への水やり作業に汗を流した。急斜面での水やりは手を添えて静かに注がないと表面が流れてしまう。今では貯水タンクからのパイプがひかれていたが、当初は水がめを担ぎあげての作業であったという。乾季が半年以上もあるネパールでは、木を育てるといふことは水をやり続けることだということも身をもって知った。また、この日に合わせて村のシンボルでもあるグンバ(ゴンバ)の落慶法要が執り行われた。タマン族はチベット仏教を信仰する。大勢の僧侶の読経、住民の敬虔な祈りが胸に響いた。

三日目となる五月一日は、村を下りながら途中で水やり



出迎えるロクさん

作業と雑草をむしり、マネガウン村へ。夕刻が迫る頃、安倍ドクターは村の指導者に植林の課題について熱心なミーティングを行っていた。村人達の安倍ドクターへの信頼は厚い。

最終日の五月二日は、更に山を下ってベトラワティへ。ここは今では大きな町となっていたが、安倍ドクターが養女としたドゥルガさんと出会った所。「牛乳パックの森」は、沙羅双樹の大木が見事に育っていた。ドゥルガさんのお兄さんのロク・タバ氏は植林の立派な指導者として奮闘中である。



ゴサインクンドトレッキング



ゴサインクンド湖 (4360m) にて

第二ステージのトレッキングは、五月二日午後、ベトラワティからドゥンチュエへの移動から始まった。シンゴンバへは聞きしに勝る急登で、あえぐこと六時間の頑張り。ついで、翌日はシャクナゲが咲く快適な尾根道をラウレピナヤク(三八〇〇m)へ。高山病を防ぐため予定を変更してゴサインクンド(四三〇〇m)の宿泊は取りやめた。ラウレピナヤクから一四名中一二名がゴサインクンドを往復したが、日替

わりで雪が舞う天候にもかかわらず、ゴサインクンド到着時には快晴となり、ヒンズー教の聖地を楽しんだ。しかし、ラウレに戻った直後にロッチに滞在していた隊員の一人が高山病を発症。急遽シンゴンバへ搬送したが、危ないところだった。

目まぐるしく変化する天候ではあったが、ランタン谷の対岸に聳えるランタン・リルン、西方のガネッシュヒマールの雄姿、遠くマナスル山群も望んでヒマラヤ大展望を満喫した。

ネパール山岳協会との友好協定(再調印式)

五月八日夜、宿泊ホテルのキャンジョンホテルにおいて盛大な調印式が挙行された。ネパール政府、観光省、高橋邦夫大使などの臨席のもとで、長野県山岳協会は古畠俊彦副会長が、ネパール山岳協会はジンバザンブ会長がそれぞれ挨拶し、協定書に調印した。ついで祝宴となり、両登山協会の今後の交流の促進と発展について話に花が咲いた。



友好協定を交わすジンバ会長と古畠副会長。右は高橋大使

【本の紹介】  
ネパールの山よ緑になれ

著者 安倍泰夫



ネパールの子どもたちを救うために植林の援助活動を展開し、五十万本の緑を復活させた三十数年。感動のドキュメンタリー(千八百円)。八百円は植林のために使われます。市販されていません。問合せはやまなみ編集者へ。

世界中の山々でご活躍の長野県のみなさまへ  
神々の国ネパールはいかがですか

ごあいさつ

弊社は創立以来、登山隊、調査隊、撮影隊などへのサポートやトレッキング、各種観光旅行の手配に、多くの方々のご支持をいただけてきました。今後ともお客様にご満足頂けますよう努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。遠征隊、登山隊につきましては大津二三子と奥田仁一が担当させて頂きます。日本語でお気軽にお問い合わせください。

登山隊取扱い実績

- メジャーエクスペディション (ネパール政府許可峰と中国への登山隊) 196隊
- ライトエクスペディション (ネパール山岳協会許可峰) 216隊 (但し過去10年間のみ)

コスモトレック&トラベル株式会社

PO. BOX 2541 Lazimpat Kathmandu, NEPAL Tel: +977-1-4416226, 4411437 Fax: +977-1-4415275  
E-mail: fumi@mos.com.np (日本語) cosmo@mos.com.np (英語) http://www.cosmotrektravel.com

### 西蔵登山協会から五〇周年祝賀に来長される

五月一四日から一六日にかけて、長山協と兄弟協定を締結している西蔵登山協会の代表団が来長されました。昨年一月の長山協創立五〇周年祝賀会に出席する予定でしたが、叶わず、この度の来長となりました。

代表団構成はディジ・ツォガ西蔵登山協会主席、張明興秘書長、ニマ・ツェリン西蔵登山隊長と英語通訳のツェ・ツェンさん、そこに中国登山協会の交流部の李豪傑さんを加えた五人。一五日の夜に長野市内で歓迎レセプションが行われ親交を深めました。これに先立ち公式な会談が持たれ、西蔵と長山協との交流登山はこしはばらく具体的なものがなかったが、協定三〇年に向けて来年度から毎年何らかの事業を続けていきたいと合意し、高校生などジュニア層の交流ということも盛り込まれています。具体的な計画を提案して交流を続けていくことが今後の夢のある交流登山につながるものと思えます。

大町市では、西蔵登山協会から山岳資料館の資料として図書が大町市長に手渡されました。山岳総合センター、大町山岳博物館を見学、長野県教育委員会へ表敬訪問と、目まぐるしい日程でした。

## 山とスキーの専門店 ICI 石井スポーツ

夏山の準備はICIで

### 夏季岳人祭

6月8日(金)~7月1日(日)

ミレニア同時開催!! 対象商品お買い上げで記念品プレゼント

### GORE-TEX 夏雨楽楽2

ユーザー登録キャンペーン  
ゴアテックス製品お買い上げのユーザー登録をいただくと抽選で当たる!!  
石井スポーツ4万円分お買い物券/10名様

詳しくはホームページで ICI 長野 松本 検索

アウトドア専門店



ガスカートリッジが  
応援価格で定価より  
**26%OFF**  
メンバーズカードで  
更に割引します

店頭価格 ¥373

店頭価格 ¥346

### 松本店

松本市中央2-3-17

TEL 0263-36-3039

JR松本駅より松本城に  
向かって徒歩8分

<営業時間>  
10:30~19:30

P 契約駐車場有  
¥2,000お買上で  
1時間サービス



### 長野店

長野市末広町1356 Nacs末広2F

TEL 026-229-7739

JR長野駅 善光寺口  
徒歩3分

<営業時間>  
10:30~19:30

P 契約駐車場有  
¥2,000お買上で  
1時間サービス



### メンバーズカード

入会・年会費無料

特典満載!  
会員募集  
お買物がいつでも 5%OFF



## アルパインツアーなら、きっと愉快的な山仲間に出会えます

### ツアーカタログをご請求ください

「世界の山旅・辺境の旅」各種カタログご希望の方は、  
下記、ホームページ、メールまたは問合せ先まで  
ご請求ください。無料でお送りします。

アルパインツアー

検索

www.alpine-tour.com

info@alpine-tour.com

### 旅行企画 実施

観光庁長官登録旅行業490号(第1種)

(社)日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員 日本登山協会



### ●お問い合わせ・お申し込み

東京/〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 (第7東洋海産ビル4階) ☎03(3503)1911  
大阪/〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階) ☎06(6444)3033  
名古屋/〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 (第2千禧ビル8階) ☎052(581)3211  
福岡/〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階) ☎092(715)1557

親会社旅行業務取扱資格 伊藤健一(東京)・大島真広(大阪)・深井基浩(名古屋)・津野秀樹(福岡)

支部だより  
東北信支部

# 平成二三年度 雪山交流会実施報告

東北信支部長 嶋崎 孝



恒例行事となっている東北信支部・諏訪支部合同「雪山交流会」が三月三日〜四日の一泊二日にて行われました。今年度は両支部より七団体・計三〇名が須坂青年の家に集結し、おかげさまで前年を上回る盛況となりました。当日は好天に恵まれたこともあり、中には山スキーでの滑走を楽しんでから青年の家

にチェックインする方もいらっしやったようです。一日目の夕食後は食堂でお酒を酌み交わしながらの交流会で歓談。例年と比べて積雪に恵まれた冬山の思い出などを語り明かすうち、気づけばいつの間にか日付が変わっていました。

二日目は各山岳会ごとに青年の家を出発し、一路春の山へ。目の前には根子岳へ続く銀斜面が広がっており、春の山スキーを楽しむには絶好のロケーション。多くの山スキーヤーがシュプールの満喫して帰路にいたようです。

普段は個別に登山活動を行っている山岳会ですが、同じ協会に所属する仲間同士。年に一度ではありますが、この交流の機会を今後ぜひ有効に活用していただけたらと思っております。

委員会だより  
自然保護委員会

# 冬の雷鳥観察会 純白のつがいに逢えた

中条山岳会 小林 貞幸



昨年企画するも東日本大震災発生のため中止になったイベント、今年は満を持しての開催。三月十七日、下界は朝から雨だったが乗鞍高原に上がる

と雪に変わり、雨中のハイクアップを免れ一安心。一行は講師役の信大中村先生と助手の小林さんを含め二十三名の大所帯。ツアークラスを辿り昼過ぎに宿舎の位ヶ

原山荘到着。濡れた衣類を乾かした後、有志だけで早速ライチョウ探しに。自分は明日に期待して山荘でまったり。観察組が戻ってからは夕食までパウポイントでの講義。翌十八日、前日の湿雪が夜間の冷え込みで硬く凍り、雪面はアイスバーン状態。冬期間雷鳥は雄が標高の高い場所、雌はやや低い所で集団越冬するらしい。今回の観察域は雄の越冬場所だったが、何とオオシラビソの根元で最初に見つけた二羽は珍しく雌雄のつがいだった。逃げられないよう全員で雷鳥を囲み中村先生から説明を受けたり、写真を振りながら包圍網を狭めて行く。やがて「枝に移って飛び去ります」と先生が言った通り、二羽は我々の前から飛行して行った。山スキーでは何度か見掛けていた白い雷鳥、今回の観察会で新たな生態を知り、一段と身近な存在になった。



国際部

中国登山協会の研修参加

中国登山協会の王勇峰副会長の招待で、ムスタグアタ峰スキー登山研修に、宮本会長、松山信、越曉彦の三名が参加します。七月八日、二九日の二日間、スキー登山技術の研修を行い、登頂を目指します。

中国登山協会の王勇峰副会長の招待で、ムスタグアタ峰スキー登山研修に、宮本会長、松山信、越曉彦の三名が参加します。七月八日、二九日の二日間、スキー登山技術の研修を行い、登頂を目指します。

指導委員会

五月一九日(土)〜二〇日(日)  
雪山交流会 in 針ノ木

指導委員長 村上周平

十五回目を迎えた針ノ木交流会ですが、翌週に実施される指導員検定の事前講習・指導員の更新時講習・各会の交流会という三つの顔を持っています。今年も多くの参加者が集まり、晴天の中、有意義な交流会となりました(事前講習組五名を加え総勢三二名)。

事前講習組・初級・中級と、目的や各自のレベルに合わせて班分けを行い、基礎的な部分からみっちり訓練を行いました。

特に会ごとに新人・初心者に対する育成・技術向上が課題となっている現状を考えると、この講習会の意義は大きなものとなっていると感じています。もっと各会にこうした機会を利用していただきたいものです。

もう一点、今回センターのリーダー講習とのバッティングなどで常任委員が少なく講師不足を心配したのですが、更新時講習で参加してくれた指導員(四名)に補佐していただくことができ、彼らにとっても次につながるいい経験になったのではないかと思います。

もちろん、恒例の雪のテールを囲んでの交流会夜の部も大いに盛り上がったことには言うまでもありません。

次回九月の小川山キャンプも多数の協会員の参加をお待ちしています。



基礎訓練

晴天に恵まれ、楽しく、有意義な交流会が出来ました。日焼けしました……。



交流会



カモシカスポーツ 山の店・松本店

山の店・松本店

夏のフェア

6/15 (金) ~ 7/16 (月・祝)

松本店イベント内容の詳細はホームページ、ブログで!

長野県松本市和田1478-1

(電話) 0263-48-2424

(ファックス) 0263-48-2420

matsumoto@kamoshika.co.jp

http://www.kamoshika.co.jp

営業時間/10:30~20:00(土日祝 10:30~19:00)



平成24年度  
諏訪支部 第2回

# クライミング交流会

小川山でのクライミングを計画中です!!

日時：9月9日(日)

問合せ先

スポーツクライミング委員会 宮坂 公久 : minnadenoborou@yahoo.co.jp

第1回は6月17日(土)、茅野のクライミングウォールで行われます。こちらもぜひご参加ください。

**大歓迎!!**

**ご家族連れ・一般参加者**

フリークライミング、アルパインの練習はもちろん  
登山、沢登り、レジャー、基礎体力向上にも!  
初心者歓迎! 老若男女、誰でも楽しめます!

平日 13:00-22:00

土 10:00-22:00

日祝 10:00-20:00

## CLIMBING CENTER ARTWALL

長野市真島町川合189-1

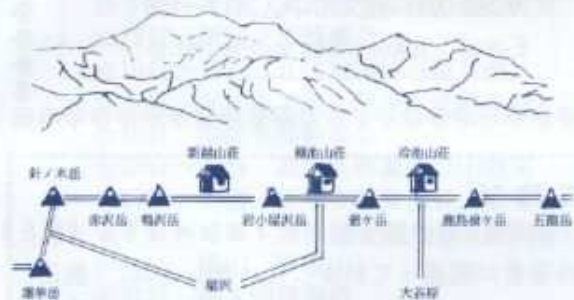
TEL 026-284-8136

URL <http://artwall.ne.nu>

そのほかにも、クライミング施設的设计・施工  
ホールド販売 etc. お気軽にご相談ください!

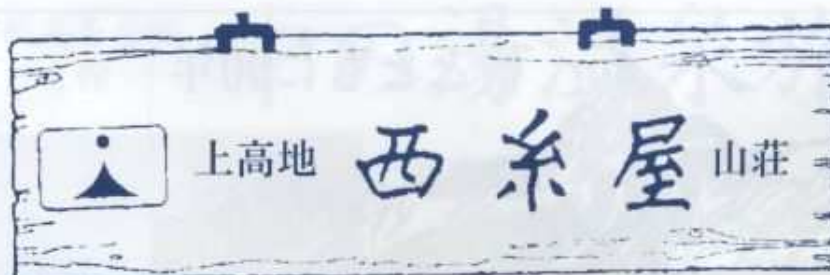
— 中部山岳国立公園 — 北アルプス  
**爺ヶ岳 (2669m) & 鹿島槍ヶ岳 (2889m)**

2004年夏 冷池山荘全面リニューアルオープン!



新越山荘 — 種池山荘 — 冷池山荘

連絡先 大町市平借馬5328 柏原 正 泰  
TEL 0261-22-1263



<http://www.nishiitoya.com/> E-mail [info@nishiitoya.com](mailto:info@nishiitoya.com)



〒390-1516 長野県松本市上高地  
TEL 0263-95-2206  
FAX 0263-95-2208

冬期事務所 (11月中旬~4月中旬)

〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-26-10  
TEL & FAX 0263-46-1358



場 所：佐久平ロッククライミングセンター  
 カテゴリー：○トップロープクライミング  
 ○リードクライミング

参加定数：40人

参加資格：男女とも小学生  
 保護者の署名、捺印が必要

参加費：2,000円(保険料含む)

申込先：佐久平ロッククライミングセンター  
 〒385-0034 佐久市平賀1570-3 浅井  
 TEL 0267-64-9789  
 E-mail : info@sakudaira-rc.com

主催/長野県山岳協会  
 後援/佐久市、佐久市教育委員会、長野県教育委員会  
 大田市教育委員会、信濃毎日新聞社  
 協力/長野放送 協賛/各社

### 会員の声を募集します

会員の皆様の声をニュース「やまなみ」に掲載したいと計画しています。

俳句、短歌、詩、写真、絵画、あるいは日頃感じていること、山の話、出来事、または意見等々、それぞれに感じる山を、それぞれの手段で自由な形で投稿をして頂き小さなコーナーに掲載する予定です。原稿は一五〇字以内、写真・絵画は縮小、拡大可能なもの。イラストも大歓迎です。原稿をお待ちして居ります。

また、このコーナーの名前についても募集。ご協力よろしくお願い致します。

原稿送付先 林 卓子  
 〒385-0051 佐久市中込3611-100  
 E-mail : takuko@ae.auone-net.jp

### お詫び

前号204号伊那支部「アイスクライミング」の筆者が間違っていました。正しくは、「飯田山岳会 鈴木興志」様です。なお、井上順子様には「イチオシこの山」の記事を書いていたいただきましたが、ここは筆者名が抜けて居りました。重なる間違いを訂正し、心よりお詫び申し上げます。 編集室

## 槍とともに90年



## 双葉印刷(有)

山と山は相連りて美し  
 山と山は相隣りて美し

〒390-0001 松本市城東二-二-一六  
 TEL (0263) 332-2263  
 FAX (0263) 361-7128

槍ヶ岳肩 槍ヶ岳山荘 南岳 南岳小屋

電話 090-2641-1911

電話 090-4524-9448

槍 沢 槍沢ロッジ アルプス銀座 大天井ヒュッテ

電話 0263-95-2626

電話 090-1401-7884

お問合せは…☎390-0813 松本市埋権1丁目7の2 槍ヶ岳山荘事務所 TEL (0263)35-7200・FAX 35-0637

協会業務短信

- 【3月】** ☆13日 第6回理事会  
 ☆31日 第7回理事会  
 (大町市山岳総合センター)
- 【4月】** ☆1日 第53回定期総会  
 (大町市山岳総合センター)  
 ☆1日 第1回理事会  
 (大町市山岳総合センター)  
 ☆7日～8日 第7回山岳スキー競技全日本選手権大会(栂池高原)  
 ☆17日 第2回理事会  
 (東京都市大学塩尻高校)  
 ☆19日 諏訪支部幹事会  
 ☆20日 山岳図書資料館開館(宮本)  
 ☆24日 伊那支部幹事会  
 ☆25日 中信支部幹事会  
 ☆26日 ネパール植林出発
- 【5月】** ☆8日 長山協・ネパール山協友好協定調印(カトマンズ)  
 ☆10日 東北信支部幹事会  
 ☆10日 ネパール植林帰国  
 ☆12日 北信越5県代表者会議  
 (福井県:宮本・浮須)  
 ☆14日～16日 チベット登山協会来長  
 ☆15日 チベット登山協会歓迎レセプション(長野市・ホテル信濃路:出席者31名)  
 ☆17日 諏訪支部幹事会  
 ☆17日～18日 高体連県大会下見  
 (編笠山、西岳)  
 ☆19日～20日 雪上交流会 in 針ノ木  
 (参加31名)  
 ☆26日～27日 指導員検定会

- ☆31日～6月2日 高体連県大会  
 (編笠山、西岳:参加19校)
- 【6月】** ☆5日 4役会議(東京都市大学塩尻高校)  
 ☆9日 東北信支部 物見の岩清掃  
 ☆10日 やまなみ205号発行

今後の予定

- 【6月】** ☆15日～17日 高体連北信越大会  
 (石川県白山)  
 ☆16日 諏訪クライミング交流会  
 ☆16日～17日 高体連北信越大会  
 ☆17日 子どもクライミング大会(佐久平  
 ロッククライミングセンター)  
 ☆19日 第3回理事会  
 ☆20日 中信支部幹事会  
 ☆24日 長野県クライミング大会兼国体予選  
 ☆26日 伊那支部幹事会
- 【7月】** ☆5日 東北信支部幹事会  
 ☆7日～8日 東北信支部夏山登山教室  
 ☆12日 諏訪支部幹事会  
 ☆16日～17日 北信越国体(福井県)  
 ☆21日 ジュニア登山教室(北股本谷)  
 ☆25日 中信支部幹事会  
 ☆28日～29日 諏訪支部夏山登山教室  
 ☆29日 中信/伊那支部夏山登山教室
- 【8月】** ☆7日～11日 高体連全国大会(新潟県苗  
 場山、平標山)  
 ☆21日 第4回理事会
- 【9月】** ☆4日 伊那支部幹事会  
 ☆6日 諏訪支部幹事会  
 ☆9日 諏訪クライミング交流会  
 ☆19日 中信支部幹事会  
 ☆29日～30日 長山協キャンプ(小川山)

奥穂高・前穂高を全眺  
 できる湯けむり館

# 中の湯温泉旅館



平成10年安房峠中腹に移転。

夏は焼岳登山、冬は上高地の  
 スノートレッキングの基地として  
 満喫して下さい。

スノーシュー・XCスキーレンタル有



〒390-1516

長野県松本市安曇中の湯

TEL 0263-95-2407

FAX 0263-95-2514

## 長野県山岳協会

とざん きょうしつ かしま やりが たけきたまた ほんだに  
「ジュニア登山教室 in 鹿島槍ヶ岳北股本谷」

「ジュニア登山教室」は、子ども達が山の自然に親しみ、山そして自然をもっと好きになってほしい…という気持ちからスタートした、小学生のための登山教室。山や川、雪遊びといった、自然の中でしかできないワクワクするような体験ができます。遊園地や公園とは違うから、もちろん危険もあります。でも危険なことが何かわかっていれば、おもいっきり楽しい体験ができます。

山登りの達人たちが、みんなに遊び方と楽しさを伝授します。

さあ、君も、「ジュニア登山教室 in 鹿島槍ヶ岳北股本谷」に参加しよう。

☺ いつ? **7月21日(土) 7:30 大町山岳博物館 駐車場 集合**

**16:30 集合場所で解散**

真夏の雪で、雪合戦ができるかな?!

☺ 内容? **7:30 集合……(バス)……大谷原到着**  
大谷原出発～西俣出合～鹿島槍ヶ岳北股本谷 雪渓の近くで昼食

大町の山「鹿島槍ヶ岳」を  
真下から見上げてみよう!

**16:30 解散(行きと同じルートで戻ります)**

☺ 参加できるのは? **小学校3年生～6年生 20名 (保護者の方は送迎のみとなります)**

☺ 費用は? **1,500円 (保険代、交通費)**

☺ 持ち物は? **リュック 水筒 昼食 両足 タオル 軍手 帽子 他**  
参加者には詳しい持ち物と服装について連絡します

☺ 詳しいことは  
どこにきくの? **<長野県山岳総合センター> 〒398-0002 大町市大町8056-1**  
**TEL 0261-22-2773 E-mail: info@sangakusogocenter.com**

☺ いつまでに連絡すればいいの? **7月6日(金曜日)**

## ■申し込み時必要事項

- ・参加児童氏名
- ・学校名、学年と生年月日
- ・〒番号、住所、自宅電話番号
- ・緊急時連絡先 (保護者携帯電話番号等)

川の水を初めて飲んだ事が楽しかったよ



昨年の登山教室の様子から (雪渓で集合写真)



夏の雪にさわってつめたかった事がびっくり!

山を登り、雪が見えるところでスイカやおにぎりを食べたのが楽しかったよ 夏なのに、雪があつてびっくりしたよ





いっしょに  
登りましょう

# 夏山登山教室

初心者・一般者募集  
でステップアップ

安全で楽しい夏山登山のために、登山に関する知識・技術を  
初歩からウラワザまで、山岳協会の講師が実践指導します

主催：長野県山岳協会 共催：長野県山岳遭難防止協会・各地区山岳遭難防止対策協会  
 主管：長野県山岳協会東北信支部・諏訪支部・伊那支部 中信支部は長野県山岳総合センターと共催  
 後援：長野県教育委員会

主幹	東北信支部	中信支部	諏訪支部	伊那支部
期日	7月7日(土)～8日(日)	7月29日(日)	7月28日(土)～29日(日)	7月29日(日)
山城	北八ヶ岳・蓼科	長野県山岳総合センターと 大田市運動公園の人工岩場	八ヶ岳：赤岳～キレット ～権現岳(八ヶ岳キレット 縦走コース)	飯田市 風越山
募集	先着30名程度(初心者、 一般者、小学4年生以上、 全日程参加できる方) *未成年者の参加には、 原則として保護者同伴	40名 小中学生およびその保護 者	先着20名程度 (中級以上の健脚向き) ★★★☆☆	20名程度(初心者歓迎・ 小中学生は原則保護者同 伴 6時間程度の歩行が 出来る)
参加費	5,000円 一泊二食・講習費・保険	1,500円 保険	15,000円 赤岳展望荘泊 一泊二食・講習費・保険	800円程度 資料代・保険代
講習内容	<1日目> 講演1 「夏山の遭難発生状況 と遭難対策」(仮) 講演2 「夏山登山の楽しみ方」 (仮) <2日目> 実習講習 蓼科山登山	3班に分かれ ①山岳博物館見学 ②山岳総合センター内の フリークライミング ③大田市運動公園の人工 岩場	①安全登山について ②登山用具の使用法 ③高山植物 ④夏山遭難防止のための 基礎知識 ⑤岩稜通過の注意点・実 技指導 ⑥地図の読み方 ⑦ロープワーク講習 など…	遭難防止の基礎知識とし て ①事前の準備 ②地図の読み方 ③危険個所の通過 ④救急用品など共同装備 ⑤集団と個人の場合の注 意 ⑥昨年の県内事故事例
集合解散	7/7 受付 12:30～12:50 長野県望月少年自然の家 (泊) 7/8 現地解散	7/29 8:30～8:40 受付 15:30 解散	7/28 9:00 茅野駅(車の方は茅野市 役所駐車場)集合 7/29 16:00 茅野駅にて解散	7/29 8:00 飯田市風越公園駐車場 16時ころ解散
申込・問合せ先	長野県山岳協会東北信支部 事務局 菅田 寛 FAX 0263-87-7133 E-mail sugata@camp.plala.or.jp 申込締切 6月20日(休)	長野県山岳総合センター TEL 0261-22-2773 FAX 0261-22-5444 E-mail info@sangakusogocenter. com	長野県山岳協会諏訪支部 指導部：佐伯 和人 TEL 090-8725-1572 E-mail kzfm2@yahoo.co.jp 花岡 勉 FAX 0266-23-7535 申込締切 2012/07/11 定員になり次第締め切り	長野県山岳協会伊那支部 伊那山の会 佐野 隆司 FAX 050-1396-9404 TEL 090-1865-0213 E-mail natuyama3776@mail.goo. ne.jp

お申し込みは、住所・氏名・電話番号・生年月日・EメールアドレスまたはFax番号を明記の上、なるべくFax・Eメールでお願いします。折り返し詳細を記した要綱をお送りいたします。地域は限定しません。遠くからの参加もお待ちしております。♪会員の皆様もふるってご参加ください♪

## 私の好きな飯田下伊那の山50選

### 南アルプス深南部加加森山

飯田山岳会 伊久間 幸広

加加森山と聞いて一番に思うのは、遠い、と言う事だろう。ルートは光岳から行くか遠山郷の池口から池口岳コースを辿って池口岳直下から光岳方面へ行く二つのルートがある。どちらも長い距離と標高差を登らなければならぬ。その加加森山の魅力は深い森の中にある静けさと、まだそれほど多くの登山者の足跡が残されていない事だろう。神話と民俗学の宝庫の遠山郷の池口から登山は始まる。



加加森山と光岳

このコースはアップダウンが多く水場が少ないので、充分な装備が必要となる。日帰りも出来るが、かなりの強行軍となる。余裕を持ってザラザラと静かな森を楽しみたい。池口登山口のすぐ上には避難小屋もある。登山口付近にも駐車スペースがある。山の神、面切平、一五六一m峰と、アップダウンを繰り返して黒雞ノ頭に着く。ここからは池口岳や鶏冠山が姿を見せてくれる。利検沢の頭を越えてザラザラ平テント場に着く。倒木と苔に覆われた平地で、水場は一〇〇m先を池口川方面に下る。往復一時間かかる。

「戸倉山」というと長野県には二座あり、両方、伊那山地にあります。一つは、伊那市と駒ヶ根市の境にあり、「とぐらさん」と読み、「伊那富士」と呼ばれているそうです。



戸倉山

### 戸倉山 (遠山のマッターホルン)

飯田山岳会 井上 順子

頂が見える。縦走路には倒木が何本もあり、乗り越えて進む。深いシダの道だが踏み跡はしっかりしている。やがて平地になり、しらびその木に小さな板の加加森山の案内板を見て西側に三分程入ると山頂標識と三角点がある。

る。樹林に囲まれて展望はないが、厚い苔に覆われた地面が南アルプス深南部らしさを感じさせる。静かな山頂を楽しんであと復路を取るか、そのまま光岳に進む事も出来る。光岳小屋とテント場も水場もある。

もう一つが今回紹介する、南信の秘境、遠山郷にある、「遠山のマッターホルン」の異名を持つ、「とぐらやま」です。天龍村平岡の方から見ると、尖った勇姿が見られます。この山の魅力は、車の入れない山中で、ほぼ自給自足の暮らしを続けている健康長寿のご夫妻に会えることです。飯田市南信濃名田熊の林道終点の登山口から、結構な傾斜の登山道を三〇分弱登ると、たくさんの畑に囲まれた、遠山さん宅があります。登山道は、こちらの玄関前に出て、庭を通り、物置のようになっていた所を通り抜けます。遠山さんがご在宅なら、一言挨拶し、時間に余裕があれば、下山時にでもお茶に呼ばれるのもいいです。

前号「イチオシこの山」にて「飯田下伊那50名山」を掲載したところ、「どんな内容が書かれているの?」「冊子は販売しているの?」等々反響が寄せられました。今回はそれに応え、50座の中から2編を紹介して頂きました。(問合せは飯田山岳会へ)

よう。私達が行った時は差し入れも持参し、色々なお話を伺いました。遠山さんご夫妻は、今年一〇一歳と九二歳で、普段は静かな山の中に二人だけで暮らしていますが、登山に訪れた人とお話するのが楽しみなんだそうです。遠山さん宅からは、一時間半くらいで山頂に着きます。お宅から少し行くと、手入れされたお茶畑があり、展望が良く気持ちがいい所です。その後、林の中の静かな山道になり、所々に標識があります。小戸倉山を経由し、戸倉山山頂に着きます。山中には、ミツバツツジやアカヤシオが自生し、春には華やかに咲くそうです。山頂はなかなか展望が良く、恵那山、中央・南アルプスの山々、伊那谷が望めます。私が訪ねたのは、三年前になるので、またいつか、尖峰を拝みに、遠山さんご夫妻に会いに訪れたいと思います。